



Schau mal! Was ist anders?

Ein Spiel von Haim Shafir mit Illustrationen von Karen Craig

どれがかわったの？

人数：2～6人 年齢：4才から 時間：約10分

セット内容



カード32枚

ゲームの目的

カードの両面の絵柄はそっくりですが、よく見るとどこかが違います。

例えば水槽のカードでは、泳いでいたお魚が、元気よくジャンプしています。

一人が出題役となり、カードを1枚選んで裏返します。みんなでどのカードの絵が変わったか探ししましょう。

『帽子のつばの向きを変えたかも。』

『家の明かり、ついていたはずなのに？』

いち早くどれが変わったか気づいたプレイヤーは、自分の手持ちカードを1枚、机のカードに加えることができます。最初に手持ちカードを無くしたプレイヤーが勝者です。



1

ゲームの準備(基本編)

各プレイヤーに配るカードの枚数は、下の表のように、参加人数によって変わります。

・2人 - 6枚	・4人 - 5枚	・6人 - 4枚
・3人 - 6枚	・5人 - 4枚	

残りのカードから5枚、好きな面を上にして机の真ん中に並べます。その他のカードは箱の中に戻します。



遊び方(基本編)

一番年下のプレイヤーが最初の出題役になります。

他のプレイヤーは机のカードを良く見て覚えましょう。出題役以外は目を閉じます。出題役はカードを1枚裏返し『どれがかわったの？』と合図します。他のプレイヤーは目を開けて変わったカードを探しましょう。

各プレイヤーが答えられるチャンスは一回だけです。

最初に言い当てることのできたプレイヤーが次のゲームの出題役になります。自分の手札から一番上の1枚を机のカードに加え、次のラウンドに進みます。

もし誰も正解できなかった場合は、出題役が自分の手札から1枚、机に加えて再度出題役になります。

遊び方(入門編)

小さなお子さまが遊ぶ場合や遊び方に慣れるまでは次のルールで遊んでみましょう。

5枚のカードを机に並べ、残りは重ねて山札を作ります。一番年下のプレイヤーが最初の出題役になります。

他のプレイヤーは机のカードを良く見て覚えましょう。出題役以外は目を閉じます。出題役はカードを1枚裏返し『どれがかわったの？』と合図します。他のプレイヤーは目を開けて変わったカードを探しましょう。

いち早く見つけたプレイヤーはそのカードを指差します。見事正解するとご褒美としてそのカードをもらい、自分の手元に置きます。そして次の出題役となり山札から1枚、机に補充します。

もし間違ったら、そのプレイヤーは1回お休みです。

他のプレイヤーは続けて、正解のものを探します。

最初に3枚のカードを集めたプレイヤーが勝者です。

最初のカードを少なくするとより簡単に遊べます。



保護者の皆様へ

スピード競争だけではなく、カードを裏返しながら簡単なお話をあってあげましょう。

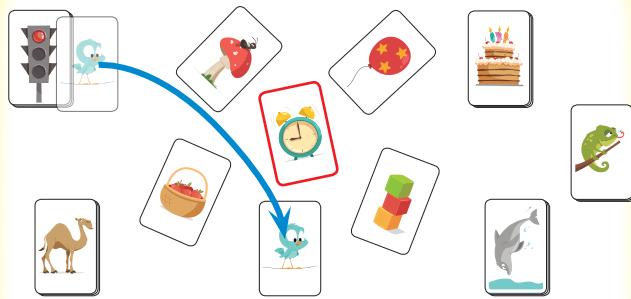
『ゴリラさん、大好物のバナナを手にして喜んでるよ。』・『信号が赤に変わっちゃった。』

もう渡っちゃダメだね。』・『アリさんがお散歩中、キノコを見つけたよ！キノコに登ると何が見えるかな？』

こうして絵の内容を話しながら遊ぶことによって、違いを印象深く記憶に留めることができます。



2



例：出題役は、目覚まし時計のカードを裏返しました。真っ先に時刻が変わったことに気づいたプレイヤーが『目覚まし時計』と言いました。見事正解したので手札から『小鳥さん』を場に置き、次の出題役になりました。そしてみんなが目を閉じている間に、次のカードを選んで裏返します。

ゲームの終了(基本編)

一番早く手持ちのカードを、全て使い切ったプレイヤーが勝者です。



2人きりでも楽しめます！

出題役と答え役を交代しながら遊びます。見つけるスピードを競うことなく、じっくり探す力を鍛える遊びとして楽しみましょう。その他のルールは同じです。



輸入販売元：株式会社ブラザー・ヨルダン社
〒631-0012 奈良県奈良市中山町1512-1
TEL:0742-40-4048 www.brjordan.com

© AMIGO Spiel + Freizeit GmbH, D-63128 Dietzenbach, 2014, 2021



Version 2.0

3

4